



モンベル7つのミッション と連動した政策事業立案

市の若手職員が、株式会社モンベルの7つのミッションを基に新たな政策事業を立案しました。

問 市・総務課

TEL 42-1802

若手職員が政策事業を考える

▼市は、今年2月から7月までの期間で、35歳以下の若手職員によるアイデア創出ワークショップを行いました。

ワークショップでは、職員22名が4グループに分かれて、株式会社モンベルの「モンベル7つのミッション」をテーマに、政策事業のアイデアを考えました。

若者のアイデアを今後の政策展開に生かしていくためにも、留萌市から株式会社モンベルに対して様々な提案をしていきながら更なる連携強化を図っていきます。

▼7月11日に開催した中西俊司市長へのワークショップ結果プレゼンテーションでの各グループから提案のあったアイデアとグループリーダーのコメントを掲載します。

モンベル 7つのミッション

1. 自然環境保全意識の向上
2. 野外活動を通じて子どもたちの
生きる力を育む
3. 健康寿命の増進
4. 自然災害への対応力
5. エコツーリズムを通じた地域経済活性
6. 一次産業（農林水産業）への支援
7. 高齢者・障がい者のバリアフリー実現

留萌市と株式会社モンベルは、令和6年5月16日(木)に、令和8年度開業予定のモンベルアウトドアヴィレッジるもい内における「アウトドア・アクティビティ拠点施設」の整備・運営について、基本合意書を締結しました。

基本合意書の詳細や
合意締結式の様子についての
留萌市 YoutubeQR ▶



Aグループ

● 自然環境保全意識の向上

モンベル店内にクリスマスツリーを配置することで、来店者の増加につなげるとともに、留萌産木材の魅力を市外に発信します。アロマ抽出、焚火及びスウェーデントーチ体験を行うことで、留萌産木材の新たな価値創出と消費拡大を図ります。また、モンベル会員向けの加工品を販売することで新規販路の開拓と留萌産木材の消費拡大につながると考えました。

● 自然災害への対応力

アウトドア親子体験会、キャンプ体験会を開催し、その中で災害発生時の対応策を伝えることで防災意識の普及や防災知識の向上につながると考えました。

リーダー

市・政策調整課

政策調整係

主任 後藤 貴志



さまざまな年代の職員が集まり、留萌市の地域課題や活性化について意見を交わせたことは、大変有意義でした。今後はそれぞれの部署で力を発揮し、よりよい街づくりができるよう取り組んでいきたいです。

Bグループ

● 高齢者・障がい者のバリアフリー実現

高齢者向けのアウトドア体験会を開催することで、外出をしてアウトドアに興味を持つきっかけを作ります。誰でも参加できるバリアフリーイベントを開催することで、障がいへの理解が深まり、障がい者の社会進出につながることに加え、アウトドアに興味を持つきっかけになると考えました。

● 一次産業（農林水産業）への支援

「るモンベル職業体験ツアー」（仮称）と題して、農業体験（田植えと稲刈り）、漁業体験（地引網仕掛けの設置、漁獲）、林業（苗木の植え付け、木の伐採）を行ってもらうことで、一次産業従事者と若手人材の確保、留萌市の人口増、一次産業従事者の事業継続につながると考えました。

リーダー

市・経済観光課
経済振興係

主任 堀 雄 飛



他部署の若い職員と交流する機会がなかったので、今回の研修を通してそれぞれの持つ知識だったり経験を活かすことができました。

Cグループ

● 健康寿命の増進

歩く、サイクリング、遊ぶことで貯めたポイントで買い物ができる「萌えろ！健活ポイント事業」を実施することにより、市民の皆さんの運動量を増やして生活習慣病の防止につながるとともに、地域経済に貢献すると考えました。

● エコツーリズムを通じた地域経済活性

観光名所に設置した宝物のかけらを探して見つけ、写真を撮影しフォトフレームやアクセサリを作って記録として残す「TRESURE ROGAINING」（トレジャーロゲイニング）を実施することにより、まちなかに足を運ぶ機会を創出し、思い出を残し、地域経済に貢献すると考えました。

リーダー

市・市民健康部
地域包括支援センター

主事 中 島 光 輝



普段関わることのない他部署の職員とグループワークをできたことも良かったですし、若手がゼロから肉付けして事業を考える場はないので勉強になりました。

Dグループ

● 野外活動を通じて子どもたちの生きる力を育む

「子どもんべるプロジェクト」（仮称）と題して、春に山で山菜採りと天ぷらへの調理、夏にゴールデンビーチるもいで火おこしやテント張り、秋に市民農園で芋掘りと焼き芋づくり、冬に道の駅るもいで雪像づくりと雪合戦などの体験活動を行うことにより、子どもたちの生きる勇気や知恵を育むと考えました。

● 自然災害への対応力

災害弱者として女性と海外出身者をターゲットに絞り、女性視点のマニュアル策定、マニュアルの多言語化、避難訓練の実施などを行ったあと、最終マニュアルを策定し、市ホームページでの公開、市のSNSでの周知、外国人就労者のいる事業者への説明・周知、海外出身者が多く住んでいる地域の町内会でのマニュアル説明、防災フェスなどを行いたいと考えました。

リーダー

市・総務部
デジタル推進室主査付

主事 宇 野 蓮 司



みんなが自由に意見を言えるような環境づくりをしたり、話していない方がいたら促しながら形を作りました。他部署の職員と関わりが持てて良かったです。